



arts in hearts
TOYOTA

第 1727 回

トヨタコミュニティコンサート
TOYOTA COMMUNITY CONCERT

47th

Regular Concert

Yamagashi Symphony Orchestra

Paul Hindemith

Ludwig van Beethoven

第47回 定期演奏会 山梨交響楽団

ベートーヴェン

献堂式 序曲 作品124

ヒンデミット

ウェーバーの主題による交響的変容

ベートーヴェン

交響曲第三番 変ホ長調 作品55「英雄」

Weihe Des Hauses, Die, Op.124

Symphonische Metamorphose von

Themen Carl Maria von Webers

Symphonische Es-dur Op.55 "Eroica"



©Takashi Fujimoto

指揮／森口 真司

(大分県立芸術文化短期大学音楽科教授)



ゲスト・コンサートマスター／永峰 高志

(国立音楽大学教授・元NHK交響楽団首席奏者)

2021. 7.25 (日)

開場／13:00 開演／14:00
13:20～ 指揮者 森口真司氏によるプレトーク

YCC県民文化ホール大ホール
(山梨県立県民文化ホール)

一般／1,500円 学生(高校生以下)／1,000円

障害者手帳を持参された方は無料でご入場いただけます。

プレイガイド

- YCC県民文化ホール (山梨県立県民文化ホール)055-228-9131
- 内藤楽器本店055-235-7110
- 岡島友の会055-231-0619

※インターネットでもご購入いただけます。

チケットぴあ <http://pia.jp/>
0570-02-9999 (Pコード:197-022)

問い合わせ先 山梨交響楽団事務局／担当：小川 TEL.030-9988-5747

主催 山梨交響楽団

共催 トヨタ自動車株式会社
アドブレン・共立・NTTファシリティーズ共同事業体

協賛 山梨県オールトヨタ

協力 公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟

後援 山梨県、甲府市、山梨日日新聞社・山梨放送、
テレビ山梨、エフエム富士、エフエム甲府、
朝日新聞甲府総局、産経新聞甲府支局、
毎日新聞甲府支局、読売新聞甲府支局

無料託児サービスのご案内

子育て支援団体「ハッピーキッズ」

演奏をお楽しみ頂けるよう、YCC 県民文化ホール (山梨
県立県民文化ホール) にて無料託児サービスを行います。
[HP] <http://happykids5.in>
[申込連絡先] info@happykids5.in
[TEL] 090-7735-8685

ご予約は、保護者様のお名前・お
子様のお名前・性別・年齢・特記
事項・連絡先・お預けする時間帯
などを明記の上、メール又は電話
にてお申込下さい。担当より折り返
しご連絡いたします。

●本公演では、お母様・お父様方にゆったりと安心して
演奏をお楽しみ頂けるよう、YCC 県民文化ホール (山梨
県立県民文化ホール) にて無料託児サービスを行います。
(要事前予約) ●託児は 0 歳児から可能です。●ご予約締
め切りは、2021年7月15日(木)です。(締切日以降
のご予約に関しては要相談) ●託児時間は当日 13:15
～ 16:30 までとなります。●本サービスは、子育て支
援団体「ハッピーキッズ」に委託して実施します。



本コンサートの詳しい
情報は、上記のQRコ
ードでご確認ください。

トヨタは“いい町・いい社会”づくりをめざし、アマチュアオーケストラ活動を1981年から応援しています。

トヨタコミュニティコンサートの情報はインターネットで
より詳しくご覧いただけます。 www.toyota.co.jp/tcc/



山梨交響楽団 第47回定期演奏会

指揮 / 森口 真司 *Conductor Shinji Mariguchi*



©Takashi Fujimoto

1964年大阪府生まれ。大阪府立北野高校時代よりオーケストラ活動を始め、京都大学文学部を経て1989年東京藝術大学音楽学部指揮科入学。1995年同大学大学院修了。指揮法を田中良和、遠藤雅古、フランシス・トラヴィス、若杉弘の各氏に師事する。大学院修了後すぐ「プラハの春」国際音楽コンクール指揮部門において第3位受賞（1位なし）、同時にプラハの春国際音楽祭に出演しプラハ放送交響楽団を指揮した。以降、東京フィルハーモニー交響楽団、紀尾井シンフォニエッタ、東京シテ・フィルハーモニック管弦楽団、東京都交響楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー管弦楽団、佼成ウィンドオーケストラ、大阪市音楽団など全国各地のオーケストラに客演する。また岩城宏之氏に認められ、2003年から2年間オーケストラ・アンサンブル金沢の専属指揮者を務めた。在任中は定期公演、オーストリア・ベルギー公演、邦楽とのジョイントコンサート（石川県立音楽堂委嘱作品、多田栄一作曲「時の果てまで」初演）、テレビ金沢開局

15周年記念演奏会等数多くの重要な演奏会で成功を収め、堀米ゆずり、リディア・バイチュ（ヴァイオリン）、ルドヴィート・カンタ（チェロ）、崔岩光（ソプラノ）、森山良子、加藤登紀子、山本邦山（尺八 人間国宝）など多彩なソリストと共演した。

オペラ指揮者としてこれまで30を超す作品を100回近く指揮し、大田区民オペラ・ベッリーニ「ノルマ」（「三菱UFJ信託音楽賞」受賞）ヴェルディ「シモン・ボッカネグラ」、モーツァルト劇場・オッフェンバック「ジュフルーリ氏のサロンコンサート」「りんご娘」（日本初演）などが各方面から絶賛されるなど充実した活動が続いている。また東京二期会を中心に若杉弘、飯守泰次郎、佐藤功太郎、チョン・ミュンフン、クラウド・ペーター・フロール、エド・デ・ワールト、ペーター・コンヴィチニ、宮本亜門など著名な指揮者・演出家のもと、ヤナーチェク「イェヌーフ」ヴァーグナー「ニュルンベルクのマイスタージンガー」「さまよえるオランダ人」モーツァルト「皇帝ティッスの慈悲」「魔笛」「フィガロの結婚」ヴェーバー「魔弾の射手」レハール「メリー・ウィドウ」リヒャルト・シュトラウス「サロメ」「アラベラ」「ダナエの愛」（日本初演）「ダフネ」（日本初演）チャイコフスキー「エフゲニー・オネーギン」など数多くの公演に合唱指揮者として参加、その手腕は極めて高く評価されている。2002年から2009年まで東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスも務めた。

東京藝術大学、くらしき作陽大学、二期会オペラ研究所講師を経て2008年大分県立芸術文化短期大学音楽科に着任する。現在は本拠地を九州に移し、九州交響楽団ベートーヴェン第九交響曲大分・延岡演奏会、愛媛県合唱連盟50周年記念公演「メサイア」、ひむかオペラ（延岡市）第1回公演「こうもり」、大分二期会旗揚げ公演「魔笛」、福岡県合唱連盟ベートーヴェン第九、ホルトホール大分開館記念演奏会、文化庁・大分県立芸術文化短期大学共催「ヘンゼルとグレーテル」「フィガロの結婚」、世界的バレエダンサー首藤康之氏演出・振付によるバレエ「ドン・キホーテ」「眠りの森の美女」、大分二期会「こうもり」、第33回国民文化祭マラー「復活」など数々の重要な公演の指揮を任されている。

現在、大分県立芸術文化短期大学音楽科教授、大分大学非常勤講師、大分二期会理事。

ゲスト・コンサートマスター / 永峰 高志 *Guest Concertmaster Takashi Nagamine*



東京藝術大学卒業後NHK交響楽団に入団。第1ヴァイオリン次席奏者、第2ヴァイオリン首席奏者として活躍する。2012年NHK交響楽団より同団への功績が認められ第32回有馬賞を授与される。2015年同団を退団する。

現在、オーケストラとの共演でソリストとして、またウォルフガング・サヴァリッシュ、ペーター・シュミードル、ヴェンツェル・フックス各氏との共演等で室内奏者としても活躍している。コンサートマスターとしても、新日本フィル、仙台フィル、山形交響

楽団、N響メンバーによる室内合奏団等に客演し高い評価と信頼を得ている。

近年はシュトゥットガルト室内管弦楽団、仙台フィル、アンサンブル神戸、N響メンバーによる室内合奏団、オンディーヌ室内管弦楽団、静岡フィル等の指揮をし、指揮者としても活動の場を広げている。仙台フィル&小曽根真氏との共演で演奏されたガーシュイン作曲「ラブソニー・イン・ブルー」、シュトゥットガルト室内管弦楽団との芥川也寸志作曲「弦楽のための三楽章」の演奏は非常に高い評価を得た。

また、国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にも当たり、その指導はヴァイオリン奏法だけでなく、オーケストラスタディ、オーケストラ奏法にまで及び、門下からはミュンヘンフィル、フランクフルト放送響、NHK交響楽団、東京都交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルをはじめ国内外のオーケストラのオーディションに数多くの合格者を輩出している。

2010年より岩手県久慈市文化会館（アンバーホール）の芸術監督を務め、数々の公演をプロデュースし成功を収めている。

2020年7月マイスター・ミュージックより新録音「ロマンス」をハイレゾ配信、CD、アナログレコードの3種類のメディアで同時リリースし、新聞、音楽誌、オーディオ誌など数多く取り上げられ注目を集める。

使用楽器は国立音楽大学から貸与されているストラディバリウス1723年製「ヨアヒム」。

山梨交響楽団

1973(昭和48)年10月に、当時山梨県内で活動していたプリモ室内合奏団が母体となって、山梨県で初のアマチュアオーケストラとして結成された。

団員は約70名、さまざまな職業と幅広い年齢層から構成され、毎週金曜日にYCC県民文化ホール等にて練習を行っている。

年間の主な演奏活動としては、定期演奏会、県内の小中学校などを巡回する山梨芸術劇場、9月定例県議会に先立つ県議会議場コンサート、1月のニューイヤークンサートなどがある。また、毎年12月開催の山梨県民第九演奏会には、団を挙げて参加している。

これまでに、(故)三鬼日雄、(故)堤俊作、田中一嘉、藤原義章、高橋俊之、桜井優徳、江上孝則、カルロス・ジュビラー、中田延亮、北原幸男、前田淳、クリスティアン・シュルツ、茂木大輔、新田ユリの各氏の指揮のもとで定期演奏会を開催するほか、(故)芥川也寸志、(故)石丸寛、三石精一の各氏をはじめ、日本を代表する指揮者との共演を実現し、全国にも通用するハイレベルなオーケ

ストラを目指している。一方、公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟加盟団体の一員として、同連盟主催の「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」に積極的に参加しながら、他県のオーケストラとも交流を深めている。2014(平成26)年8月には「第42回全国アマチュアオーケストラフェスティバル甲府大会」を高円宮久子妃殿下のご臨席の下、全国から400人以上の参加者を得て開催し、主管オーケストラとして大会の成功に大きく貢献した。また2020(令和2)年2月には当初のオペラ公演（ブッチェニ作曲歌劇「ラ・ボエーム」）を開催し満員の聴衆のもと好評を博した。

団の運営は、団員個々から集める団費と、県内有力企業及び個人の篤志家の皆様からの物心両面の賛助により、文字どおり「県民による県民のためのオーケストラ」として活動を続けている。1998(平成10)年には、それまでの芸術振興と長年の地道な活動に対して山梨県より、音楽団体としては初の県政功績者表彰を受賞している。

山梨交響楽団事務局

〒409-3852 山梨県中巨摩郡昭和町飯飯1562-11 TEL.080-9988-5747 (担当者:小川)
URL <http://www.yso.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yso.nashikyō>